



インダ珈琲



第35話

2025.10.31

Misato Kita

Miyazaki

キーワード

勉強とは

「なんで勉強なんかしなきゃいけないの？」という質問に、東大卒の母が机にコップを置いてこう答えた。

算数を学べば、この中に 200ml の水があると、数字で見えるようになる。

理科を学べば、この水は水素と酸素からできていることが知れ、

社会を学べば、この水がどこから来たのかが分かり、そして世界にはこの綺麗な水を飲むことができない人たちがいることを知れる。

美術を学べば、この水の反射を自分で綺麗に描くことができるようになるし、

音楽を学べば、同じコップでも水の量で音を変えられることにも気づける。

技術を学べば、このコップがどんな素材でなぜ漏れないかが分かり、人の想像の凄さを知ることができる。

保健体育を学べば、この水が体にどれだけ大切な命の正体が見えてくる。

道徳を学べば、この水を誰かと分け合うことの大切さを学べて、思いやりの心が育ち、

国語を学べば、今私が話した全部の意味を正しく理解できるようになる。

英語を学べば、この話を世界中の人と分かち合えるようになり、

哲学を学べば、この話に何の意味があるのか考えれるようになる。

でももし何も学ばなかつたら、このコップの中にあるのはただの水で終わる。

「だから勉強するの。この世界をただ見ているだけの人生で終わらせないためにね。

★東大卒の母が息子言った「深すぎる」

勉強の本当の意味★ (解説)

1. 知的好奇心・探求心

【世界】を深く認識する力】

各科目的知識は、目の前の「水」を数字、構造、意義といった多角的な視点で分解し、本質を深く理解する訓練である。これは、単なる暗記ではなく、「なぜ？」を追求する知的好奇心と探求心を育み、世界をただ見ているだけで終わらせない主体的な学びの土台となる。

2. 社会性・共感力

【他者】と関わり生きる力】

勉強は、世界には多様な状況があることを知り、自分以外の他者への想像力(共感力)を深める活動である。社会性や道徳を学ぶことで、思いやりの心が育ち、「分け合う」行為の重要性を認識する。これは、多様な価値観を持つ人々と協調し、より良い社会を築くための人間関係能力の基盤を養う。

3. 自己肯定感・表現力

【自分】を確立し伝える力】

言葉(国語)や芸術(美術・音楽)を学ぶことは、思考を整理し、感じたことや考えたことを表現し伝達する力を高める。技術で人の凄さを知ることは、自己肯定感や創造性につながる。これは、他者に正しく理解されるためのコミュニケーション能力と、人生をクリエイティブに楽しむ力を育てる。

「勉強の本当の意味」は何だろう?と自問自答したとき、テストの点数ではなく、多角的に捉える見方、「すごい!」と感動できる心が育つことが一番です。その要素が全部詰まっているのが「学校」です。学校での学びを変えていきたい! そう考えます。

